オーディオ実験室収載

LAN アキュライザーの活用(15)
－TANNOY ⅢLZ－

１．始めに

前報(14)に引き続き、TANNOY ⅢLZ における LAN アキュライザーの追加導入と Crstal EpL 導入後の効果を確認します。

２．LAN アキュライザーLACU-1 と Crstal EpL の試聴計画

1 個目の LAN アキュライザーの効果は LAN アキュライザーの導入(11)で報告しています。その後、LAN アキュライザーの導入(15)で報告しましたように 2 個目の LAN アキュライザーをルーターとスイッチングハブの間の LAN ケーブルに追加導入しました。

さらに仮想アース Crystal EpL の導入(2)で報告しましたように Crystal EpL をスイッチングハブに導入し、仮想アース Crystal EpL の導入(3)で報告しましたようにルーターには自作の仮想アースを適用しています。

今回、これらの効果を改めて TANNOY ⅢLZ で確認することにしました。

アンプは、Tugsol 5881pp モノアンプ×2 台駆動です。

音源は STAGE+に限定して PC 経由で再生し、LAN アキュライザーの導入(11)で試聴したものとします。

STAGE+

ベートーヴェン　ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ（ピアノ）

バッハ　クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスツ

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト　ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ（ヴァイオリン）他

バッハ　無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

３．LAN アキュライザーLACU-1 と Crstal EpL の試聴結果

ベートーヴェンのピアノソナタは、LAN アキュライザーの導入(11) では、「ベートーヴェンのピアノソナタでは、ポリーニの弾く Fabbrini の音の緻密さが増します。」と記載しています。今回の試聴では、音の緻密さが増すと同時に、スケール感もでて

おり、大人しめの TANNOY ⅢLZ からかなりのアタック感が聴けます。
バッハのクリスマスオラトリオは、LAN アキュライザーの導入(11) では、「合唱の分離や古楽器の質感はかなりのところ向上します。ソリストの歌唱では、声の質感も環境への間接音も大きく向上します。」と記載しています。今回の試聴では、合唱の分離やスケール感は、今一つ届かないところもありますが、古楽器の質感や声の質感はかなり満足度が向上し、まとまりの良さが出ています。
シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」は、LAN アキュライザーの導入(11) では、「弦の音が滑らかになり、ピアノの響きが豊かになり、コントラバスの音階も明瞭になります。」と記載しています。今回も、その印象は変らず、スケール感に欲を言わなければ、よくまとまったバランスのとれた表現力を示しています。
バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、LAN アキュライザーの導入(11) では、「LAN アキュライザーなしでも TANNOY ⅢLZ の持ち味が発揮され、満足度の高い音を聴かせてくれていますが、LAN アキュライザーの装着で一層完成度が向上します。」と記載しています。今回の試聴では、この種の曲は TANNOY ⅢLZ の得意とするものであり、ヴァイオリンの艶やボウイングの表現は、ほぼ完成に近い印象です。

４．まとめ

LAN アキュライザーの追加導入と Crystal EpL の効果が TANNOY ⅢLZ で確認されました。

以上